

2017年1月

一つだけ確実なこと

公益財団法人 国際通貨研究所
名誉顧問 行天豊雄

2017年の世界経済のキーワードは不確実性だと云われる。その通りだろう。去年世界中で起ったさまざまな事件の余燼がまだ全く収まっていないのだから確実なことなど云える筈がない。ならば、日本のことなら多少確実に判るかと言われても仲々そうは行かない。GDPに対する輸出入額の比率がここ20年で倍増していることにも示されるように、日本経済はこのところ、国内の停滞を反映して、急速に對外依存を高めている。早い話が為替相場は本来相手が外にいるわけだから、相手の事情でどうにでも動いてしまう。2017年の円の為替相場を動かす要因は国内にはなく、FEDの金利政策、トランプ政権の財政政策と貿易政策、EUの金融情勢ということだろうが、こういう問題について日本人が一番洞察力があるとは残念ながら云えない。ということで、今年是不確実性の高い年になるのである。

しかし、こういう変動要素の大きい問題とは別に、日本経済については、確実に憂慮しなければならない事態が進行しているのではないか。最近の国内メディアの論調で眼につくのは日本経済の現況についての自己満足と云える安心感である。曰く、米・中経済の安定で日本経済の環境は良くなっている。曰く、円安・株高で雇用情勢、企業収益、所得、消費も徐々に回復している。曰く、その結果、成長率も潜在成長率を上廻っている。曰く、種々の構造改革も一歩づつではあるが前進している。曰く、国民の安心感が高い内閣支持率に反映されている。

数字はいずれも間違いではないのだが、全体のトーンが何やら呪術師の自己催眠術のように聞えるのは私の僻みだろうか。日本経済の現状を縦割りした一枚の写真として見れば長閑に写っているだろう。しかし忘れてはならないのは、日本経済の国際的立場が着実に劣化を続けているという現実である。日本の成長率は日本の基準からすれば悪くないのかも知れないが、米国より、中国より、EUより、アジア諸国より低い。つまり、日本経済の存在は日に日に小さくなっているのである。

かつての技術大国も衰えた。製造業の国際競争力、高等教育のランキング、特許出願数、論文引用数、IT起業数、コンピューターの性能等々さまざまな基準で計られる技術力指数は明らかに日本の相対的地位の低下を物語っている。

とくに衝撃的なのは隣国中国との力の格差の拡大だろう。あつという間に日本を抜き

去った中国経済は、今や日本の三倍近い規模に達し、その差は拡がり続けている。かつては、真似るか、盗むかと云われていた技術力も今は製造工業、IT、サイバー、宇宙等々広汎な分野でキャッチアップを達成している。この力関係の変化はアジアにおける外交関係にも反映されている。

要するに、日本経済の現状は、静止画面で見れば尤もらしく見えるかも知れないが、そのアジアにおける、世界における比重と発言力は着実に萎縮を続けているという現実には忘れてはならないのである。

2017 年は不確実性の年だろう。しかし、日本人として何とか日本経済の国際的地位の低下に歯止めをかけねばならぬというのが確実な課題ではないだろうか。

(株式会社マネーパートナーズ ホームページへの寄稿)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2017 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: 3-2, Nihombashi Hongokucho 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 103-0021, Japan

Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2

電話 : 03-3245-6934 (代) ファックス : 03-3231-5422

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>